

令和3年度いじめ対策・不登校支援及び中途退学防止事業 教育活動充実支援事業【インターンシップ】研究成果発表

宮城県白石高等学校 七ヶ宿校

効果的支援と変容する生徒の姿

生徒がインターンシップで発見した楽しさや気づき等を、成果発表において互いに認め合うことで、豊かな人間関係を形成する

生徒自身が地元の就業体験(キャリア)で果たした貢献(肯定感)を、自らの手で、新たな学びの意欲につながる「動機付け」とする

生徒の興味関心や職業観をインターンシップ事業所と共通理解し、具体の到達目標をつくる

地元企業とのつながりや生徒の希望を生かしたインターンシップ受入事業所との協力・打合せを行う

教育活動充実支援事業の実施（白石高校七ヶ宿校）

- 1 生徒の学びに係る支援
(外部機関との連携)
個々の生徒を成長させる「インターンシップ」の在り方を協議・研究しました
【指導講師】宮城教育大学 教授 植木田 潤 先生



植木田教授 来校指導

- 2 定時制課程
(昼間定時制)
先進校への視察



先進校視察（福山葦陽高）

広島県立福山葦陽高等学校を訪問し、就業への定着に係る取り組みを伺いました

- 3 就業体験
(インターンシップ)の実施

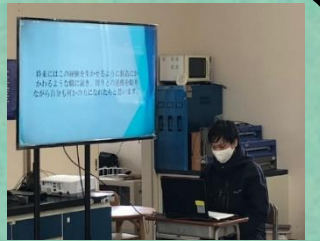
主体的体験の学び場として将来の進路実現をイメージしながら取り組みました



地元企業での就業体験

- 4 インターンシップ
成果発表会

就業体験した事業所の皆様が参加してくださいました宮城教育大学 植木田潤教授より指導助言を頂きました



インターンシップ 成果発表会

令和3年度 白石高校七ヶ宿校「学びと実践」

- 学校生活での意識改革・成長（認められた自分を素直に受け入れる）
良好な生活習慣・他者を思いやる気持ち・小さな自己肯定感の積み重ね
- 探究する力を培う（就労体験で自らの適性を把握し、自己理解に努める）
少人数教育を生かし社会に貢献するための企業との協働による取り組み
- 地域社会とともに歩む学校へ（必要とされる「学びたい」学校づくりの推進）
自らの言葉で発信するインターンシップ発表と、事業者等との交流連携

【本事業における成果】

- ◆就業体験を通じて、人間としての成長や自分が必要とされる人材である事を肯定的に捉え、発表会でその良さを認め合うなど、相手を思いやった人間関係の形成がみられた。
- ◆少人数教育七ヶ宿校のメリットを生かし、生徒の成長を培う機会として、学校と就業体験受入事業所との良好な関係が構築できた。

【今後の取り組みの方向性】

- ◆生徒の豊かな人間性を育むため、地元の企業や事業所等と連携した就業体験を継続しておこなう。